

労福協 NEWS

2016.11 No.81

生活困窮者自立支援事業

～誰もが住みやすい地域社会の構築をめざして！～

この制度が創設される背景には、日本の社会経済上の構造的な変化があります。
 経済状況の悪化に伴う雇用機会の縮小、非正規雇用や期間雇用等、低収入の労働者が増加し、単身世帯やひとり親世帯の増加、近所づきあいの希薄化など、家族やコミュニティの機能の低下といった社会情勢のもと、社会的に孤立し経済的に困窮している生活困窮者は増え続けています。

生活保護受給者以外の生活困窮者の総合相談窓口いわゆる「第2のセーフティーネット」が、県内8市16町村に設置され2年目となり、労福協も以下、県、市から受託しています。



あなたの抱えている生活の不安や
 心配をご相談ください。



こまつしま生活自立支援センター

☎ 0120-783-141



あなんパーソナルサポートセンター

☎ 0120-928-764



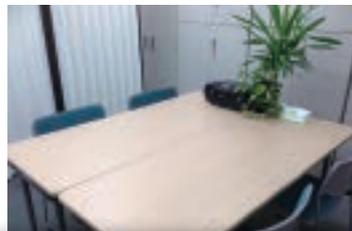
徳島市子どもの学習支援事業
「学びサポート塾」

☎ 0800-200-3145



鳴門市生活自立相談支援センター
「よりそい」

☎ 0120-928-734



パーソナルサポートセンターとくしま

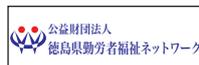
☎ 0120-460-380



鳴門市よりそい学習支援事業
「学びサポート塾なると」

☎ 0120-873-580

「労福協NEWS」は、連合、労金、全労済、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の6団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。



労福協

平成28年度
徳島県若年者早期離職対策事業のご案内



(公社)徳島県労働者福祉協議会は11月から新たな相談事業を始めました。今月から月に2度、概ね45歳くらいまでの仕事についている若年者を対象に「はたらく若者のためのしごと応援相談室」を開設しています。

徳島県においては、たとえば大卒で就職した若者の3年以内の離職率が全国平均で33%弱であるのに対し、徳島県では約40%と、7%高い率となっており、今後の徳島県を担う人材を育成する上での大きな課題と、ひいては、今後の徳島県の経済活動や地域活性化の大きな阻害要因になると考えられることから、離職対策の事業として位置づけた「平成28年度徳島県若年者早期離職対策事業」を、行政機関や労使の団体と緊密なネットワークを持ち、各種相談事業のノウハウを有する労福協が受託しました。

この事業は日頃から若者の生の声を聞いている専

門家や有識者による検討会を開催し、早期離職理由のアウトラインを把握するとともに、今後の離職者対策の取り組みについて検討を行います。

具体的な取り組みとしては企業へのアンケート調査や、概ね30歳くらいまでの若手社員を対象に「若手社員研修」を12月に開催します。おもに新卒採用が少なくこのような研修を自社で実施できない中小企業の若手社員に向けて企画しています。

定期的に行うのは、冒頭にあげた働いている若者を応援する相談事業です。転職しようかと迷ったり、将来のキャリアが描けなかったり、職場内に相談できる人がいなかったり、といった職業生活で生じてくるさまざまな思いや悩みを受け止め、一緒に解決策を考えていく事業です。相談に当たっては、若年者支援の専門家が対応します。

離転職を考えている人には、誰かに話してみること新たな視点で仕事をとらえなおす機会になるかもしれません。これからのより良い職業人生に向けて、この相談室を多くの若者に利用してもらえるよう充実させ、情報発信していきたいと考えています。

「はたらく若者のためのしごと応援相談室」の開催日

- 日 時 毎月第1・第3金曜日 18時～21時 (要予約)
- 場 所 (公社)徳島県労働者福祉協議会
徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島2F
- お問い合わせ 088-625-8387
- 相談予約 <http://www.tokushima-rofuku.net/early-turnover/>
のメールフォームからご予約下さい。





2016 生活底上げ 福祉強化キャンペーン

全国で
展開中!

- 次世代を担う若者を追い込む雇用劣化と“奨学金制度”の改善を実現しよう!
- 生活・就労支援を強化し、生活困窮者を地域で支えよう!
- みんなで労働者福祉事業を利用し、共助の輪を地域に広げよう!



徳島県労福協

連 合

— 地域元気フォーラムinとくしま —

8月20日ろうきんホールにて約80名参加のもと連合徳島主催の「地域元気フォーラム in とくしま」を開催。徳島県をはじめ経営団体6団体、労働団体5団体から後援をいただいた。



はじめに主催者を代表して森本連合徳島会長が「地域フォーラムではなく『地域元気フォーラム』と銘打って、地方が元気

になるためには小規模事業者が元気でなければならない。各界の意見も参考にして徳島を盛り上げていきたい」とあいさつ。次に来賓あいさつとして神津連合本部会長が「企業が元気になるためには、労使関係が非常に重要である。2年前より、中小企業家同友会や中小企業団体中央会と話し合いの場を持つようになり、中小企業経営団体との連携も行っている」と強調した。

続いて、加渡いづみ四国大学短期大学部准教授より「地域を支える小規模事業者」と題した



記念講演が行われた。加渡准教授からは、①徳島県内の小規模企業を取り巻く現状は、休業業や解散など事業者数の減少をはじめ、事業主の高齢化や後継者不足、そして交通網の発展により近畿圏への買い物やインターネットでの買い物など、消費者の購買行動の変化も著しく厳しい状況であること。②企業には新陳代謝も必要であり、若者の起業も増えているため、小規模企業全体の売上げはここ2

年間で微増していること。③小規模企業が生き残っていくためには2つの情（人情と情報）がキーワードで、見守りが重要であること。④地域経済の主役は小規模企業であり、事業者が徳島の強みを最大限に活用し人材育成をはかり地域経済の好循環を生み出せるよう、県民や県も支援していかなければならないこと。などが説明された。

その後、NPO法人壮生の中村昌宏理事長がコーディネーターを務め、パネルディスカッションを開催した。パネラーである加渡いづみ四国大学短期大学部准教授、藍原理津子株式会社ネオビエント代表取締役、上田輝明徳島県商工労働観光部商工政策課長、川原佳子徳島県勤労者福祉ネットワーク常務理事、神津里季生連



合本部会長の5名からは、それぞれの立場で地域が元気になるために

実行している事例やこれからの展望について説明。神津連合本部会長からは、連合の全国的な取り組みとして、47地方連合会にて地域フォーラムの開催に取り組んでいることや中小企業活性化に向けた取り組みが報告された。最後に、まとめとして中村理事長が、地方を元気にするため小規模事業者がすべき事は6つあり、①連携（それぞれの企業がウィンウィンの関係の構築）②人材育成（企業は人である）③地元（地元を誇りを持つ）④経営管理・経営計画（計数管理とプランニング）⑤マインド作り（労使一体）⑥情報発信力（いかに地元の良さや会社の良さをアピールするか）が重要であると締めくくった。

ろうきん

～四国労働金庫社会貢献活動『助成金制度』～

2016年度「助成先への目録贈呈式」開催報告

四国労働金庫（高松市：理事長 小川 俊）は、社会貢献活動の一環として2002年度より四国労働金庫社会貢献活動「助成金制度」を制定し、四国内で活動しているボランティア団体・NPO法人等を対象に助成金を贈り、地域の福祉活動を支援しています。

2016年度事業の助成金募集（募集期間：2016年6月1日～7月31日）の結果、34団体より5,517,100円の助成金申請があり、この度、当金庫の資金助成選考委員会（学識者2名、会員代表4名、金庫役員3名の計9名で構成）で選定審査を行い、24団体の活動に、3,841,800円の助成を行うことを決定しました。



※ 地区は下記の3団体に助成が決定し、10月13日に徳島営業本部において助成金目録贈呈式が行われました。

◆2016年度「助成先団体」一覧表

<徳島県関係分> 徳島県関係の助成先は、下記の3団体で助成金総額 500,000 円となります。

助成先団体名	団体所在地	助成対象活動
徳島県肢体不自由児者父母の会連合会	徳島市	障害児者と家族のための情報と遊びのひろば
JTM とくしま日本語ネットワーク	徳島市	外国にルーツを持つ高学年の子どもたちのための日本語支援セミナー
パープルシードあなん	阿南市	女性への暴力を選ばない ホワイトリボンキャンペーン 講演会

全 労 済

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

9月 ご来店キャンペーン開催報告

【開催報告】

2016年9月1日(木)～9月30日(金)まで、全労済徳島県本部窓口にて、「気軽に・何でも・何度でも」相談できる『親切で頼れる店舗』を目指し、組合員満足度の向上に向け、『防災&暮らしのキャンペーン』を開催いたしました。

キャンペーン期間中に、ご来店いただいた方全員に、ガーゼハンカチまたはフリーザーバッグのどちらか1点をプレゼントいたしました。さらにご来店のうち新規で加入いただいた方には、フェイスタオルまたはランチバッグのどちらか1点をプレゼントいたしました。

キャンペーン期間中に、全労済徳島県本部窓口にて646名の皆さまにご来店いただきました。

ありがとうございました。

【次回開催報告】

次回のご来店キャンペーンは、2016年12月1日(木)～12月29日(木)に開催する予定です。さらに多くの皆さまにご満足いただけるようにキャンペーンを企画して参りますので、皆さま奮ってお越しくださいようお願いいたします。

★ご来店の方全員に

①、②のどちらか1点をプレゼントいたしました。

①ガーゼハンカチ

②フリーザーバッグ



※写真はイメージです。

★新規でご加入いただいた方に

①、②のどちらか1点をプレゼントいたしました。

①フェイスタオル

②ランチバッグ



※写真はイメージです。

2016年度 第1回地区推進会議開催報告



2016年9月12日(月)～9月26日(月)までの期間、県内各地区の計5カ所で地区推進会議を開催しました。

各地区の代表者にご出席いただき、全ての議案が承認・決定され、盛会のうちに終了いたしました。

2016年度 徳島県共済生活協同組合 防災イベント開催報告

2016年10月30日(日)徳島県立防災センターで開催されました「とくしま防災フェスタ2016」に参画し、防災イベントを開催しました。当日は、徳島県共済生協ブースを設置し、ミニ消火器を使用した放水ゲームや非常食の試食体験を行い、放水ゲーム(約300人)、非常食の試食体験(約500人)の皆さまに参加いただき、防災・減災に対する知識を楽しく学んでいただきました。



勤労者福祉ネットワーク

◆コミュニティビジネスセミナー 2016 「思いに花を咲かせよう! 2」開催

9月14日から10月5日まで、毎週水曜4回シリーズで開催。今回は、グラフィックファシリテーションの手法を導入し、講演内容をリアルタイムでビジュアル化、起業を志す参加者の意志をより具体化することで、自分自身が何を目的に起業したいのかを改めて知るきっかけを作りました。

「クレール」でのお弁当作りの実体験や、全国展開の「とくし丸」の立ち上げ秘話、SNSを使った広報戦略など、内容も充実したものとなり、参加者から次回も参加したいとの声をいただきました。



9月14日 グラフィックファシリテーターの玉有氏

◆財団20周年記念 あわ〜ず徳島15周年 「ゆめ」支え合う未来(あした)へ開催

10月6日(木)、財団20周年・あわ〜ず徳島15周年への感謝と、地域社会への貢献(チャリティライブ)を目的に開催した『「ゆめ」支え合う未来(あした)へ NO CHANGE 大杉 漣 トーク&ハートフルライブ』。財団役員、職員も舞台上に立ち、「10年後にも、地域社会から支持され、感謝され、全ての財団スタッフが輝いて活躍する公益財団法人として、果たすべき役割をしっかりと担っていく」と決意を新たにしました。

アスティとくしま多目的ホールに用意した約2000席は見事に満席となり、参加者の熱気に大杉漣さんも時間を忘れ、予定時間を大幅に超える熱いライブとなりました。

ライブ終演後のロビーは、帰途につく参加者からの「とても楽しかった!」「素晴らしい時間を有り難う!」「感動で涙が止まらなかった!」など、感謝と感動の声で溢れました。



決意を新たに、次の10年後へ!



大杉漣バンドの素晴らしいステージに参加者も大満足!

徳島県はあなたのステキな出逢いと幸せな結婚を応援します!

Matching マッチング

とくしまマリッジサポートセンター(マリッサとくしま)のマッチングシステムは、ご結婚を誠実に希望する20歳以上の独身男女の1対1の出逢いをサポート。会員登録が完了したら、マリッサとくしまのタブレット端末でお相手のプロフィール情報を検索。気になるお相手へのお引き合わせを申し込むことができます。

入会登録料 10,000円(2年間有効)

マリッサ とくしま

Event イベント

マリッサとくしまのWebサイトでメルマガ登録すると、素敵な出逢いイベントやセミナーの情報がメルマガで届きます。気になるイベントがあったら、webサイトで詳細をチェック!参加希望の場合は、イベントユーザー登録してから参加応募!(応募者多数の場合は抽選)。

登録無料

お申込み・お問い合わせは とくしまマリッジサポートセンター(マリッサとくしま)

徳島市徳島町城内2-1(とくぎんトモニプラザ4階) FAX:088-656-1008 msc@marissa-tokushima.com

☐マンティック ゴール とわに

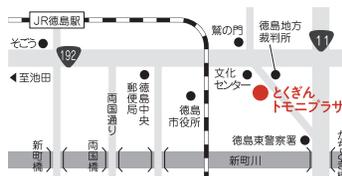
TEL:088-656-1002

曜日	月	火	水	木	金	土	日・祝
開所時間	12:00~20:00	12:00~20:00	休み	休み	12:00~20:00	10:00~18:00	10:00~18:00

※水曜日、木曜日が祝日の場合は開所日とします。なお上記にかかわらず年末年始(12/29~1/3)はお休みとします。

●詳しくはwebで! マリッサとくしま 検索
<https://www.msc-tokushima.jp/>

※地下駐車場(有料)もございますが、台数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。



とくしまマリッジサポートセンター(マリッサとくしま)は、結婚を希望する独身者に出逢いの場を提供し、サポートを行うため、公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークが、徳島県から委託を受けて、結婚支援を行う公的センターです。

地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

「リラクゼーション・ヨガ」講座を開催しました!

- ◇と き 2016年10月8日(土)
午前10時30分～11時30分
- ◇ところ ふれあい健康館1Fホール
- ◇参加者 30名
- ◇講師 徳島フィットネスラボ
阿部ひとみ先生



10月8日(土)10時30分
から、ふれあい健康館1
階ホールにおいて「リラク
ゼーション・ヨガ」講座を
開催しました。30名分のヨ
ガマットをホール一杯に敷

き準備をする中、三々五々参加者が集まりました。

徳島中央ライフサポートセンター川西所長から「初心者の私には、先生の言われるようなポーズはなかなかできません。周りの目を気にせずストレスを感じないヨガをしてみたいと思います。皆さんも、周りを気にせずそれぞれのポーズで明日への活力を高めてください。」とあいさつの後、阿部ひとみさんの指導のもと、リラクゼーション・ヨガが始まりました。

まず、脳を目覚めさせるため「グー、パー、グー、パー、右手を前に右足前に、左手前に左足前に、右手を前に左手前に、右足前に左足前に、・・・」とヨガの始まりです。「左足を前に右足を曲げ、手は右手と左手を頭の後ろで組み顔は左足を見ましょう。」ゆっくり息を吸い・吐く腹式呼吸とアロマの効果で心も体もリラックス!



「リラクゼーション・ヨガ」を楽しみ、参加者全員が明日への活力を得た一日でした。

『連合徳島・丹東市総工会友好交流』第10次訪中団 参加報告



歴史と近代化のはざまに!!

9月5日(月)から10日(土)
までの6日間中国丹東市をは
じめ4都市を訪れた「連合
徳島・丹東市総工会友好交

流」第10次訪中団の参加報告です。

5日関西国際空港から大連に、次に、高速鉄道に乗り丹東市に向うが、車窓からの風景はトウモロコシ畑と水田がどこまでも続く。また、2時間余りの丹東まで

トンネルは2つだけ。国土の広さを痛感する。

丹東市に着くと、総工会の方々に迎えられ、総工会主催の歓迎レセプションに参加する。

馬主席から歓迎挨拶を頂いた後、同じテーブルの方々と交流するが、何様言葉が分からず十分なコミュニケーションが取れなかったことが悔やまれる。

丹東二日目は、虎山長城(万里の長城東端)、錦江山公園を視察、鴨緑江遊覧し、北朝鮮の一部を垣間見る。鴨緑江では多くの北朝鮮の人々が泳いだり、蟹や海老を網で取っている様子を見ると、子どもの頃の情景に思われた。また、軍服姿の兵士を対岸へ渡していたが、棧橋もない河岸から飛び乗って乗船、後方には十数階のホテルやマンションが見え大きなギャップを感じた。

泳ぐ近くまで船を寄せ写真を撮っていると小石を投げられ、船頭が喧嘩をしていたが「見世物ではないぞ。」という彼らのプライドを傷つけたことが悔やまれた。

夕刻には、連合徳島主催の答礼会。この時には、徳島市へ研修に来ていた「邢春龍」さんが隣に座り、話がはずむ。お酒も入り宴たけなわになり阿波踊りを披露することに。調子はずれの「よしこの」に皆さん調子を合わせていただきありがとうございました。

「邢春龍」さんと交流する中で、丹東市の概要が少し分かってきた。

丹東市は、遼寧省(省・区政府所在地:瀋陽)の東南部に位置する面積1.5万km²(岩手県と同じく位、徳島県の4倍弱)、人口239.5万人(名古屋市と同じ位、徳島県の約3倍)の市、日系企業数が94社、在留邦人数約20人と日本との交流はまだまだ進んでいない。

GDP総額をみると、2014年で約1,000億円(約16,000億円)、徳島県の2013年度GDP総額(実質)が約31,000億円であることから徳島県の5割強である。

GDP総額の内訳をみると、第一次産業の占める割合が14.5%(徳島県2.1%)と高く、農業を主とした市であると推察される。ちなみに、人口239.5万人のうち非農業人口の割合は44.5%である。

また、一人当たりGDPは、4万2千円(67万2千円)、徳島県の一人当たりGDP(実質)が287万8千円であることから、約1/4である。

三日目からは、中国の内情視察に北京、西安、上海を回り、古代中国の遺跡を観たが、私が歴史小説からイメージしていた遺跡とは何か違うものを感じ、それは何かと考えると、あまりにも綺麗に修復された建造物になっているからだろうと思った。また、遺跡の



周りに高層ビルが立ち並び景観を損なっているのも気にかかった。

この旅で総じて感じたことは、中国全体が建設ラッシュに沸き、人が多く喧騒の中にあると言うこと。

一方、広い大地での農業は近代化が進んでおらず、これからの食料難が心配されること。また、私的には古代遺跡の景観保存を十分に施し、ロマンのある遺跡巡りが出来るようにして欲しいと願った。

徳島西部ライフサポートセンター

～2016平和の夕べ共催～

8月7日（日）三好市へそっ子公園にて「2016平和の夕べ」が開催されました。

平和の夕べでは、地域住民のみなさんとともに平和の尊さを学び伝えていく機会になればとの思いで、毎年夏に映画上映やイベント開催などを行っています。この活動に徳島西部ライフサポートセンターも平和の夕べ実行委員会の一員として参加しました。



今年は開会前に雨が降り、プログラムに若干の変更がありましたが、多くの方々に参加していただきました。オープニングは三加茂

中学校青年太鼓のみなさんが迫力ある演奏で楽しませてくれました。その後、ピースライブやキャラクターショーが催されました。キャラクターショーで使用されたアンパンマンやバイキンマン、トラの着ぐるみは、徳島西部ライフサポートセンターの地域貢献事業として貸出を行っており、毎年この平和の夕べで開催されるショーでも使用されています。



また、ダンススタジオ FUNとyuyu with eririさんのコラボライブもあり会場は大盛り上がりでした。焼きそばや焼き鳥などの屋台には子どもたちの列ができていました。

メインイベントの映画は、今年は「はだしのゲン」が野外上映されました。上映時刻が予定より遅くなってしまったのですが、みなさん最後まで真剣に観ていました。

天候が心配でしたが、会場のみなさんの思いが伝わったのか雨もやみ、最後まで無事に開催することができました。

～2016年度上半期 相談業務集計～

徳島西部ライフサポートセンターでは、生活相談を行っています。

様々なお仕事の悩み、賃金等の労働条件・解雇・セクハラ・パワハラ等のお仕事に関するご相談、介護、子育て、税金など日々の生活での心配事のご相談、どこに相談すれば分からないときは徳島西部ライフサポートセンターへご相談ください。

利用できる制度やサービスを提供できる機関をご案内します。専門的なアドバイスを受けるお手伝いをさせていただきます。

【2016年4月1日～9月30日までの相談報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
生活相談	2	3	4	1	1	3	14
保険・金融相談	1	0	2	0	0	0	3
労働相談	1	0	2	3	0	0	6
子育て・家庭相談	1	1	3	3	0	0	8
就職相談	2	1	0	0	1	0	4
介護相談	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	5	11	7	2	3	35

徳島南部ライフサポートセンター

「暮らしのなんでも相談室」の2016年度上半期における相談件数等の報告です。

相談を受ける様々な公的機関等が増えているために、当事務所への相談件数は毎年減少気味といえます。

相談内容等の傾向としては、いずれも人間関係、信頼関係の希薄・崩壊等からくるものが圧倒的に多いのが特徴です。職場でも、家庭でも、上司・部下・同僚、親子・夫婦・兄弟の区別なく、感情のむき出しによるトラブルが多く、少し譲り合ったり相手のことを思いやればすぐにでも解決するような案件が多くあります。また自分のストレスのはけ口になっているようなハラスメントのケースも見受けられます。

ほかにメンタルに起因する問題も多くみられますが、その上に求職問題、職場でのいじめ問題等が加わり一層複雑さを増して、解決の糸口を見つけるのが困難というケースが、今後も益々増えていくと思われます。

経済的、精神的に安心・安全・安定が守られ、将来に向けて夢を持って暮らせる福祉社会の実現が最も大きな解決策だという側面を常に感じながら相談業務に当たっております。

【2016年度上半期の相談件数等集計表】 4月1日～9月30日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
暮らし・生活	5	2	0	2	1	1	11
法律	2	0	0	3	0	0	5
子育て・介護	0	0	0	0	0	0	0
保険・金融相談	0	0	0	0	0	0	0
労働相談	1	0	2	0	4	0	7
合計	8	2	2	5	5	1	23

わーくびあ徳島

消防訓練及び防災セミナー —実施報告—

2016年9月15日(木)、徳島県労働福祉会館において消防訓練及び防災セミナーを実施し、労働福祉会館に入居する各団体から27名が参加しました。



まず防災セミナーでは、徳島市消防局から大寺さんと戸田さんを講師として

招き、講習用DVDを鑑賞した後、将来予想される南海トラフ地震について想定される被害やその対策についてポイントを解説して頂きました。

次に通報訓練へと移り、ここでは本年度から新しく労働福祉会館に入居した徳島県電気工事



業工業組合と徳島県旅行業協会から2名が参加し、電話機を用いて火災等を想定した模擬訓練



が行われました。最後に実地訓練として、各階廊下にある屋内消火栓の使い方

について学びました。

尚、各入居団体には『防災ハンドブック2016年度版』(エフエム徳島,2016)と『東京防災』(東京都,2016)が配布されました。



壮生

「シニアカフェ グランマ」オープン

世界に類を見ない速さで高齢化が進む人口減少高齢化社会において、シニア層の健康・就労・生きがい・居場所づくりは避けておれなくなっており、とりわけ、一人暮らし高齢者の孤立化、貧困化は大きな社会問題になってきています。

このような中で、高齢者の“一人暮らしを一人ぼっちにさせない”共生のネットワークづくりは緊急の課題であるといえます。



そこで、壮生は「ボランティア友の会ひまわり」(代表前田すづ子壮生副理事長)の協力を得て、6月11日(土)にヒューマンわーくびあ徳島で第1回「シニアカフェグランマ」をオープンしました。県内各地から60~90代の約40人の元気なシニアの皆さんが集まりました。グループに分かれ、一人ずつ自己紹介をして和気あいの雰囲気の中で話が弾みました。お弁当を食べた後は、カラオケ大会で「自慢のど」を披露しました。

参加者の皆さんのアンケートにより、7月には「認知症サポーター養成講座」を開催し、多くの皆様のご参加をいただきました。なお、8月からは開催日を第1土曜日に変更し、阿波踊り、メイクアップ講座等を開催しています。12月3日(土)には、「振り込め詐欺防止セミナー」を予定しています。

なお本事業は「ハートフルゆめ基金とくしま」の2016年上期の『徳島をなんとかしたい!「ほっとけん!事業支援プログラム」』に、壮生は『「高齢者の“一人暮らしを一人ぼっちにさせない”を支援する事業』に応募し、採択されその一環として実施しているものです。





ろうきんで家を建てたり、
車を買ったり、お金を貯めたり。
上手に使ってる人、身近にも案外いたよ。
他の金融機関と同じなんだね。
違うのは、金利や手数料がお得で、
非営利の金融機関ってこと。

あなたと
わかちあう
次の一歩

ろうきん

けっし使える。
ろうきん

ろうきんイメージモデル 高梨 智



ZENROSAI NEWS

住まいの備えは全労済の
住まいる共済で安心。

全労済の
住まいる共済

①火災共済・②自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

発行 公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島内)
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 川越敏良
印刷者 (有)フォトプリント白石